



Contents

News !	1
入試による臨時休館について	
特任教授 梶谷光弘先生が 「医譚賞」を受賞	
館内利用量調査を行います	2
気になる医学論文	
ブック★コンパス	2
1月テーマ 「正しい日本語を 意識してみる」	
編集後記	2

News !

入試による臨時休館について

センター入試と一般入試(前期)実施に伴う、構内立ち入り規制のため、臨時休館します。この期間は、ICカード認証での時間外利用もできませんので、ご注意ください。

2018年1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2018年2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			



通常開館
土日祝日開館
短縮開館
休館

2F自動ドア	2018年1月12日(金)19:00 ~ 14日(日)18:30	センター入試のため
ICカード認証停止	2018年2月23日(金)19:00 ~ 26日(月)19:00	一般入試(前期)のため

特任教授 梶谷光弘先生が「医譚賞」を受賞

この度、医学部特任教授の梶谷光弘先生が、「島根県医史学および華岡青洲門人帳の研究」により、日本医史学会関西支部の「医譚賞」を受賞されました。

梶谷先生は、医学図書館の貴重資料「大森文庫」について、20年余りにわたり研究に取り組み、論文も数多く執筆されています。

今回の受賞は、「大森文庫」の資料整理・研究発表がきっかけで、華岡家の子孫の方との繋がりができた結果、新たな資料(青洲門下生の氏名・入門日を記録した門人帳)に出会い、完成した研究成果に対するものでした。

医学図書館では、梶谷先生の研究活動が今後ますます充実したものになるよう、関連資料の提供をしていきたいと思っております。おめでとうございます。

大森文庫

1804年、全身麻酔による乳癌手術を成功させた華岡青洲一門に三代にわたって学び、地元母里藩大塚(現・島根県安来市)で開業した大森家旧蔵の史料(古医書611冊、掛軸・書付等14点)を「大森文庫」と名付けて収蔵しています。華岡流医術・薬方に係る史料群というだけでなく、華岡流医術の地方伝播と医学教育、地域医療を内容とする史料としても意義あるものです。



「華岡青洲肖像画(華岡青洲賛)」
(部分)不明堂三楽筆

館内利用量調査を行います

今後の図書館サービス及び施設の改善に活用するため、以下の通り調査を行います。
調査中は、閲覧中・勉強中の方の近くを歩いたり、セミナー室の外から中の様子をうかがったりしますのでご了承ください。不明な点等ありましたら、カウンター職員にお尋ねください。

日時 2018年1月18日(木), 2月8日(木), 3月15日(木)

各日8:30, 10:00, 13:00, 16:00, 19:00ごろ

調査者 図書館職員(名札を下げ、バインダーを持っています)

内容 各時間帯に調査者が館内を巡視し、利用者の行動(閲覧、機器利用等)を記録します。資料名、端末に表示されている事項、利用者の個人名は特定(記録)しません。



コラム

気になる医学論文

ILLの作業中に担当職員が見かけ、気になった医学論文を紹介します。

ILLとは、「図書館間相互利用(Inter Library Loan)」サービスの略称です。利用者の依頼に応じて、当館にはない資料を借り/複写して送ってもらいます(逆に、当館も他館からの依頼に応じています)。この業務では、所蔵する論文を探したり、他大学から届いた論文を確認したりする工程があります。その時に、素人(非医療系職員)なりに、目に留まる、気になる論文との出会いがあります。

●痛そうな論文 編 **あくまでも素人目に、です。**

野村皓三.小児腸間膜脂肪腫による腸間膜捻転症の1例.日本腹部救急医学会雑誌;2012;32(2):378
⇒「腸」「捻転」と言えば、志賀直哉の短編「赤西蠣太」が連想されます。作中では激痛らしく描写され、超荒療治が展開されます。小さな子供があのような痛い目に遭う……と思うと、つらいですね。

●勉強になった論文 編 **「おふゆさんの鯖」とは何? という方は検索してみてください。**

林圭 他.ブリアレルギーの1例.臨床皮膚科;2016;70(9):671-674

⇒魚の写真が付いた症例報告です。古い干物や赤身魚等で生じるヒスタミン中毒。加熱してもだめ。ピリピリ味なら危険。幸田文の名エッセイ「おふゆさんの鯖」は、医学的には危険行為なのです。

●意外な人物が題材となった論文 編 **ヒトラー以外の人物が取り上げられることも。ぜひ確認を。**

Gerstenbrand F, Karamat E. 'Adolf Hitler's Parkinson's disease and an attempt to analyse his personality structure.'"European journal of neurology"1999;6(2):121-127. ほか多数

⇒歴史をテーマにした番組等で「ヒトラーはパーキンソン病を患っていた」というような話を聞いたことがある方もいるかもしれません。PubMedで「Adolf Hitler」と検索すると、1960年代から今日までヒトラーと病をめぐる50本以上の医学論文が発表され、意見が交わされていることが分かります。

ブック★コンパス

1月テーマ「正しい日本語を意識してみる」

普段何気なく使っている日本語、実は違った意味で使っていた……などということは誰も経験があるのではないのでしょうか? 医学部生の皆さんが、将来、論文等を執筆する際や患者さんの前で間違った言葉をうっかり使ってしまうないように、勉強の合間に気軽に読める本を集めました。

編集後記

明けましておめでとうございます。旧年中は、入館ゲートが壊れたり、自動貸出装置等が故障したりしたこともあり、皆様にはご迷惑をおかけしました。ここ数年何かしら機器のトラブルに見舞われている医学図書館。今年こそはつつがなく過ごせますように。(Y.S.)

発行日 2018(平成30)年1月4日

発行者 島根大学附属図書館医学図書館

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

TEL: 0853-20-2094 FAX: 0853-20-2095